

新しいロータリーロゴマークのついたクラブ旗を購入することにつき承認されました。(事務用品より33,000円支出)

今回の手続き要覧はダウンロードのみとなっており、2650地区にて冊子の購入が出来るので10冊(@1,000円)を購入することにつき承認されました。

司急送に引っ越しの見積もりを依頼し、運転手と助手

2名で55,000万円、複合機は保険がついている京セラ指定の業者に依頼し30,000円かかるとのことです。業者の都合で、引っ越し日は12月20日(火)の9時00～に依頼することにつき承認。

20日の引っ越し日は、アゼリアメンバーより5～6名のお手伝いをお願いします。以上です。

## 慶風高校インターアクトクラブ設立総会・認定状伝達式

2022年11月23日(水・祝) ホテルアバローム紀の国 出席60名

### 開会の挨拶 青少年育成委員会 委員長 松本 良二



本日、慶風高校インターアクトクラブ設立総会にご出席いただきまして感謝申し上げます。アゼリアR.Cでは、青少年奉仕として地区のプログラムに参加してきましたが、

自主のプログラムはありませんでした。メンバーの中に高等学校を運営されている田原さんの慶風高校を対象にインターアクトクラブを立ち上げていただくこと2019年から画策して参りました。慶風高校さんに承諾もいただき、これからと言う時にコロナ感染が拡大し、中断せざるを得ませんでした。2022年に入りコロナ禍も落ち着く兆しが見えてきたので森本ガバナーのご承認もいただきRIに認定フォームを申請し認定状をいただきました。今日に至るまでに2021年3月に伝達式を終えられました、太子R.Cの間宮様にはいろいろ教えていただき大変お世話になりました。そして本日第2640地区では、13番目のインターアクトクラブ設立の運びとなりました。

慶風高校では、本校のある紀美野町の地域住民の方との交流を深め、地域活動に参加しています。そして和歌山サポート校では、地域清掃に毎年参加するなど既にりっぱに地域貢献を実践されています。

慶風高校の特徴は、通信制の高等学校です。その生徒の勉学等をサポートするために和歌山市秋月に和歌山サポート校があります。サポート校に通う生徒さんを中心にオンライン等で連携を取りながら活動していた

だき、全国的に稀少な多様性のあるインターアクトクラブとしての活動を期待します。

アゼリアR.Cは、提唱クラブとして慶風高校インターアクトクラブと共に奉仕活動を歩み続けて行きたいと思えます。

### 提唱クラブ会長挨拶 和歌山アゼリアRC会長 梅田 千景



皆さま、こんにちは。本日は、お休みのところ、また、お足元の悪い中、慶風高校インターアクトクラブ設立総会ならびに認定状伝達式にご出席頂き、ありがとうございます。

3年前から動いていたインターアクトクラブ設立が、やっと実現し、今年25周年記念事業の一環として、このように設立総会が行える事を、嬉しく思っています。設立に当たり、ご指導頂きました太子RCの皆様、関係各位にお礼申し上げます。インターアクトクラブメンバーの若い力を発揮出来るように、見守り、協力し、共に奉仕活動をして行きたいと思えます。今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。

**慶風高校インターアクターの紹介**



慶風高等学校 教頭 中前耕一様  
 本日は、慶風高校インターアクトクラブ顧問の児嶋政則先生が、欠席の為、代わりに紹介をさせていただきます。

会長 甲斐 大樹 ・ 副会長 前田 美海  
 幹事 佛 爽菜 ・ 会計 松永 和樹  
 理事 吉田 一郎 ・ 理事 寺下 華那



国際ロータリー第 2640 地区ガバナー森本芳宣様より  
 認定状伝達・記念品目録贈呈



**梅田会長より、会員章授与**

会長 甲斐大樹君                      幹事 佛 爽菜さん

**「祝辞」国際ロータリー第 2640 地区**

ガバナー 森本 芳宣様



皆さんこんにちは。本日、和歌山アゼリアロータリークラブをスポンサーとして第 2640 地区第 13 番目の慶風高校インターアクトクラブの設立総会・認定状伝達式を迎えられたことをお慶び申し上げます。

過日、神戸においてロータリー研究会が開催され出席してまいりました。その際 R I 会長ジェニファー・E ジョーンズ会長はストーリーを発信しようからストーリーをつなげようとお話されていました。本クラブも、永く広くつながって下さい。

また研究会で、ロータリーを通じての外国の留学生は最初、日本人は何を考えているかわからないと感じたそうです。交流してみて日本人のやさしさを理解したと。日本人は発信力が不足していると言われていました。しかし、私は先日インターアクト国際交流親睦会に出席し、インターアクトと米山留学生がすぐに打ち解けて交流しその内容を発表する姿を見て、若者の発信力・社交性を楽しく見学しました。

皆さんの今後の学校や地元地域でのボランティア活動、国際親善、楽しみながら世界中に友達を作る当活動が発信しながらつながり継続されていく事を期待します。

#### 「祝辞」国際ロータリー第 2640 地区

インターアクト委員長 渡辺 隆一様



学校法人田原学園慶風高等学校 校長 田原 洋子様



みなさま こんにちは。本日は、会長 梅田千景様をはじめとする和歌山アゼリアロータリークラブの皆様、国際ロータリー第 2640 地区ガバナー森本芳宣様、また多くのご来賓の皆様がご臨席のもと、このような盛大な式を開いていただきますことに心より感謝申し上げます。

本校は「愛情をもって根気よく」をモットーに、自主・友愛・創造の精神をはぐくむ教育を目指し、さらに、国際的視野と感覚をもち、社会の発展に貢献できる人材を育成することを目標として、平成 17 年に開校致しました。時間を自由に使うことができる通信制高等学校の利点をいかし、勉学のほかに野球、テニス、ゴルフ、e-sports など、生徒はさまざまなことに日々チャレンジをしています。

この度インターアクトクラブを設立させていただく機会を得ることができました。いただいた貴重なこの機会を大切に、子どもたちがより一層活動を通じ、よりよい友情を築き、国際親善に貢献できるよう、またご期待に添えられますよう生徒はもとより教職員一同一丸となって頑張ってまいります。

みなさま、なにとぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

慶風高校インターアクトクラブ 会長 甲斐 大樹君



皆さま 本日はお忙しい中、私たち慶風高校インターアクトクラブのためにこのような素晴らしい式を開いていただき、誠にありがとうございました。

私たち慶風高等学校では、定期的に支援センターや本校周辺の清掃活動を行ったり、またコロナが流行する以前は姉妹校であるブルネイの高校生と日本で交流を行ったりしていました。しかし、現在は頻繁な交流を

することが難しくなり限定された活動が主体になっていました。よって、ボランティアをしてみたいという生徒たちにこれから幅広く多くのことを経験させていただけるこのような素晴らしい機会を与えてくださったロータリークラブの皆様へ心より感謝いたします。これからはインターアクトクラブを通じて、「ボランティア活動」という身近のようで難しい活動を幅広く継続して取り組むことはもちろんのこと、社会奉仕の精神と意欲をもって取り組み、自分自身の成長につなげていきたいと思っております。ありがとうございました。

### 「謝辞」 学校法人田原学園慶風高等学校

#### 理事長 田原サヨ子様



本日は、慶風高等学校をインターアクトクラブとして認証して戴き、誠にありがとうございます。本校は時間を自由に使える通信高校の利点を生かし、本校の生徒は、早くから

ブルネイ王国のヤヤサン高校、カンボジアのスナダイ・クマエ児童養護施設、アメリカフロリダ和歌山文化協会の高校生・大学生との国際交流活動に努めて参りました。近年はインターネットの時代であり、世界が更に近くなり便利になりました。これから先も、これらの国との交流を深めると同時に、国内は勿論のこと世界のインターアクトクラブの皆さんとも様々な奉仕活動を通して、国際理解や親睦の輪を広げていきたいと思っております。そして、いつの日か卒業生が世界で活躍することを期待しております。本日、このように立派な伝達式を開いていただき、本当にありがとうございました。

### 「閉会の辞」

#### 会長エレクト 北野 敏夫



本日は国際ロータリー第2640地区ガバナー森本芳宣様はじめ、地区役員の皆様、各ロータリークラブの皆様、休日にもかかわらず、大変お忙しい中、慶風高校インターアクトクラブ設立総会・認定状伝達式にご臨席賜りまして心より御礼申し

上げます。また、設立にご尽力頂きました田原学園関係者の皆様、インターアクトクラブの皆様、設立総会・認定状伝達式を本日無事に執り行われたことを大変喜ばしく思います。

私たち和歌山アゼリアロータリークラブは慶風高校インターアクトクラブと共に学び共に歩んで行きたいと思っておりますので、今後共、皆様方のご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

簡単ではございますが、慶風高校インターアクトクラブの今後の発展と、本日ご臨席の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして閉会の挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございました。

本日は誠にありがとうございました。

